

東部地域仮設庁舎 解体等工事に係る事前調査

令和5年調査実施

解体等工事に係る事前調査説明書面

①発注者 住所 東大阪市荒本北1丁目 1-1

氏名(法人にあっては名称及びその代表者の氏名)

東大阪市

御中

住所

東大阪市小阪1丁目13番10号 ラ・ガール小阪505号

②元請業者 氏名

株式会社 サン設計事務所

(受注者)

代表取締役 高野 順行

(法人にあっては、名称及びその代表者の氏名)

電話番号 06-6784-2390

大気汚染防止法第18条の15第1項及び大阪府生活環境の保全等に関する条例第40条の3第1項に基づく石綿使用の有無に関する事前調査結果について下記のとおり説明します。

③解体等工事(建設工事)の場所	東大阪市 南四条町 742 番 1 (解体等工事(建設工事)の名称) 東部地域仮設庁舎解体工事に係る設計業務		
④解体又は改造・補修着手年月日	平成 27 年 月 日	延床面積	5572.61m <sup>2</sup>
⑤解体等工事の種類	解体 <input checked="" type="checkbox"/> 改造・補修	階数	地上4階建 地下1階建
⑥建築物等の竣工年	<input checked="" type="checkbox"/> 昭和・平成 48 年		
⑦建築物等の概要	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物 ( <input checked="" type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 準耐火 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ) ( <input type="checkbox"/> 木造 <input checked="" type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> S造 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ) <input type="checkbox"/> その他工作物		
⑧事前調査を行った者及び当該者が登録規定に基づく講習を受講した講習実施機関の名称等	氏名 株式会社 サン設計事務所 高野 順行 講習実施機関の名称 SAT 株式会社 ( <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特定 <input type="checkbox"/> 一戸建て等 <input type="checkbox"/> その他 ( ) )		
⑨調査を終了した年月日	令和5年9月13日		
⑩調査の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 書面 <input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input checked="" type="checkbox"/> 分析 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
⑪調査の結果	⑫特定建築材料(石綿含有建築材料)の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 石綿有又は石綿みなし有(詳細は別紙1のとおり) <input type="checkbox"/> 石綿無	
	⑬破壊しないと調査できない場所であって、解体等が始まる前に確認できなかった場所		
	⑭建築物等の階、部屋及び部位ごとの特定建築材料(石綿含有建築材料)の使用の有無	別紙3のとおり	
⑮事前調査の揭示	設置予定年月日	年 月 日	
	設置場所	別紙のとおり	
⑯届出の要否	1 大気汚染防止法第18条の17第1項(第2項)に基づく届出 要・ <input checked="" type="checkbox"/> 不要 (大阪府生活環境の保全等に関する条例第40条の8第1項に基づく石綿の濃度の測定計画の届出 要・ <input checked="" type="checkbox"/> 不要) 2 大阪府生活環境の保全等に関する条例第40条の7第1項(第2項)に基づく届出 要・ <input checked="" type="checkbox"/> 不要		

備考 1 特定建築材料(石綿含有建築材料)が有り、特定粉じん排出等作業(石綿排出等作業)に該当する場合は別紙1を、測定計画の提出が必要な場合別紙2を添付すること。

2 工事中に特定建築材料(石綿含有建築材料)を見つけた場合、再度説明すること。

元請業者からこの書面の説明を受けました。 ⑯発注者氏名(法人にあっては名称並びに説明を受けた者の職及び氏名)  年 月 日
発注者へこの書面の説明を行いました。 ⑰元請業者氏名(法人にあっては名称並びに説明を行った者の職及び氏名)  年 月 日 高野 順行

※ 書面の構成等を改変する場合は、○番号の項目を記載した書面とすることが望ましい。

**特定粉じん排出等作業の概要  
石綿排出等作業**

①特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の種類	1 吹付け石綿、石綿含有保温材、石綿含有耐火被覆材又は石綿含有断熱材に係る作業 ① 解体作業 (2) 石綿含有建築材料を掻き落とし、切断し、又は破砕すること以外の方法で除去する解体作業 (3) 石綿含有建築材料の事前除去が著しく困難な解体作業 (4) 改造又は補修の作業 2 石綿含有成形板等（石綿含有成形板）に係る作業 3 石綿含有仕上塗材に係る作業
②特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の実施の期間	自 年 月 日 至 年 月 日
③特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の対象となる建築物等の部分における特定建築材料（石綿含有建築材料）の種類並びにその使用箇所及び使用面積	1 吹付け石綿 ( 、 m <sup>2</sup> ) 2 石綿を含有する保温材 ( 、 m <sup>2</sup> ) 3 石綿を含有する耐火被覆材 ( 、 m <sup>2</sup> ) 4 石綿を含有する断熱材 ( 、 m <sup>2</sup> ) 5 石綿を含有する仕上塗材 ( 、 m <sup>2</sup> ) 6 石綿を含有する成形板等（成形板） ( 、 m <sup>2</sup> ) 詳細は別紙3 のとおり
④特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の方法	① 除去 ・ 囲い込み ・ 封じ込め ・ その他 ( )
⑤特定粉じん排出等作業の方法が法第 18 条の 19 各号に掲げる措置を当該各号に定める方法により行うものでないときは、その理由	
⑥特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の対象となる建築物等の配置図及び付近の状況	別紙 のとおり
⑦特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の工程を明示した特定工事（特定排出等工事）の工程の概要	別紙 のとおり
⑧ 作業の揭示 設置予定年月日 設置場所	年 月 日 別紙 のとおり
⑨特定工事（特定排出等工事）の元請業者（施工する者）の現場責任者の氏名及び連絡場所	電話番号
⑩下請負人が特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）を実施する場合の当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡場所	電話番号

※ 書面の構成等を改変する場合は、○番号の項目を記載した書面とすることが望ましい。

備考 1 解体等工事が特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）に該当する場合に作成すること。

2 特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の対象となる建築物等の配置図、付近の状況、特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）工程を明示した特定工事（特定排出等工事）の工程の概要については、計画している作業方法等がわかるものを添付すること（作業工程を示す日程表、図面等）。

大気中の石綿の濃度の測定計画

石綿排出等作業の開始前	測定実施予定年月日	年 月 日
	測定の場所	見取図のとおり
石綿排出等作業の期間中	石綿排出等作業の場所 及び測定実施予定年月日	石綿排出等作業の場所 : 石綿排出等作業の実施期間 (実作業日数) : 年 月 日 ~ 年 月 日 ( 日 ) ----- 年 月 日
		石綿排出等作業の場所 : 特定粉じん排出等作業の実施期間 (実作業日数) : 年 月 日 ~ 年 月 日 ( 日 ) ----- 年 月 日
		石綿排出等作業の場所 : 石綿排出等作業の実施期間 (実作業日数) : 年 月 日 ~ 年 月 日 ( 日 ) ----- 年 月 日
	測定の場所	見取図のとおり
石綿排出等作業の完了後	測定実施予定年月日	年 月 日
	測定の場所	見取図のとおり

- 備考1 「石綿排出等作業の場所」には、当該石綿排出等作業の場所を特定するための一連の記号を付すとともに、見取図には、石綿排出等作業の場所を当該記号を使用して示すこと。
- 2 石綿排出等作業の期間中の欄で、測定の対象となる石綿排出等作業の場所が4箇所以上となるときは、記入欄を増加させること。また、2回以上測定を行わなければならない場合には、測定実施予定年月日をすべて記入すること。
- 3 大気中の石綿の濃度の測定の場所を示す見取図を添付すること。

事前調査結果の詳細票 ( 1 枚目/ 7 枚中)

建築物等が設置された着工年月日		昭和 48 年 月 日		階	1	部屋名称	1 F ピロティ (部屋番号 1 )				
部位	① 設計図書 (改修時の設計図書も含む)、目視による調査				② 石綿の含有の状況の分析による調査				③ 石綿の使用の状況		資料番号
	建材名、製品名等	備考	調査の方法	石綿含有	サンプリング	石綿含有	石綿の種類 (含有率)	備考	特定建材材料 (石綿含有建築材料) の種類 (材料レベル)	使用面積	
天井	リシン	改修:	<input checked="" type="checkbox"/> 設計図書等 (根拠資料の種類: ) <input checked="" type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	W23 1372
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	

1 設計図書の該当箇所、目視調査の内容、含有の状況の分析実施の際は採取箇所の図面及び分析結果など、石綿の使用・含有及び使用面積算出の根拠となる資料を添付すること。  
 2 設計図書等の根拠資料の種類を括弧内に記載すること。a 石綿含有建材データベース (国土交通省・経済産業省)、b メーカーの証明書・ホームページ、c JATI 協会無石綿情報、d その他 (具体的に根拠資料を記載)、e 設計図書等無し  
 3 目視による調査についてはその内容を括弧内に記載すること。A 外観、B 商品名の印字、C JIS 番号 D その他 (具体的に内容を記載)  
 4 備考欄には改修の着工の履歴など当該部位に係るその他情報を記載すること。  
 5 別紙3は必要に応じて複写し、階、部屋ごとに作成すること。

事前調査結果の詳細票 ( 2 枚目/ 7 枚中)

建築物等が設置された着工年月日		昭和 48 年 月 日		階	1	部屋名称	消火ポンプ室 (部屋番号 2 )				
部位	① 設計図書 (改修時の設計図書も含む)、目視による調査				② 石綿の含有の状況の分析による調査				③ 石綿の使用の状況		資料番号
	建材名、製品名等	備考	調査の方法	石綿含有	サンプリング	石綿含有	石綿の種類 (含有率)	備考	特定建材材料 (石綿含有建築材料) の種類 (材料レベル)	使用面積	
外壁	リシン	改修:	<input checked="" type="checkbox"/> 設計図書等 (根拠資料の種類: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし ) <input checked="" type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	W23 1372
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	

1 設計図書の該当箇所、目視調査の内容、含有の状況の分析実施の際は採取箇所の図面及び分析結果など、石綿の使用・含有及び使用面積算出の根拠となる資料を添付すること。  
 2 設計図書等の根拠資料の種類を括弧内に記載すること。a 石綿含有建材データベース (国土交通省・経済産業省)、b メーカーの証明書・ホームページ、c JATI 協会無石綿情報、d その他 (具体的に根拠資料を記載)、e 設計図書等無し  
 3 目視による調査についてはその内容を括弧内に記載すること。A 外観、B 商品名の印字、C JIS 番号 D その他 (具体的に内容を記載)  
 4 備考欄には改修の着工の履歴など当該部位に係るその他情報を記載すること。  
 5 別紙3は必要に応じて複写し、階、部屋ごとに作成すること。

事前調査結果の詳細票 ( 3 枚目/ 7 枚中)

建築物等が設置された着工年月日		昭和 48 年 月 日		階	1	部屋名称	東側駐車場コンクリート塀 (部屋番号 3 )				
部位	① 設計図書 (改修時の設計図書も含む)、目視による調査				② 石綿の含有の状況の分析による調査				③ 石綿の使用の状況		資料番号
	建材名、製品名等	備考	調査の方法	石綿含有	サンプリング	石綿含有	石綿の種類 (含有率)	備考	特定建材材料 (石綿含有建築材料) の種類 (材料レベル)	使用面積	
外壁	吹付タイル	改修:	<input checked="" type="checkbox"/> 設計図書等 (根拠資料の種類: ) <input checked="" type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	クリソタイル  ( 0.1% )		クリソタイル  (レベル 3 )	24.5㎡	W23 1372
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	㎡	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	㎡	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	㎡	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	㎡	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	㎡	

1 設計図書の該当箇所、目視調査の内容、含有の状況の分析実施の際は採取箇所の図面及び分析結果など、石綿の使用・含有及び使用面積算出の根拠となる資料を添付すること。  
 2 設計図書等の根拠資料の種類を括弧内に記載すること。a 石綿含有建材データベース (国土交通省・経済産業省)、b メーカーの証明書・ホームページ、c JATI 協会無石綿情報、d その他 (具体的に根拠資料を記載)、e 設計図書等無し  
 3 目視による調査についてはその内容を括弧内に記載すること。A 外観、B 商品名の印字、C JIS 番号 D その他 (具体的に内容を記載)  
 4 備考欄には改修の着工の履歴など当該部位に係るその他情報を記載すること。  
 5 別紙3は必要に応じて複写し、階、部屋ごとに作成すること。

事前調査結果の詳細票 ( 4 枚目/ 7 枚中)

建築物等が設置された着工年月日		昭和 48 年 月 日		階	5	部屋名称	5 F 外部階段 (部屋番号 4 )				
部位	① 設計図書 (改修時の設計図書も含む)、目視による調査				② 石綿の含有の状況の分析による調査				③ 石綿の使用の状況		資料番号
	建材名、製品名等	備考	調査の方法	石綿含有	サンプリング	石綿含有	石綿の種類 (含有率)	備考	特定建材材料 (石綿含有建築材料) の種類 (材料レベル)	使用面積	
天井	リシン	改修:	<input checked="" type="checkbox"/> 設計図書等 (根拠資料の種類: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし ) <input checked="" type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	W23 1372
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	

1 設計図書の該当箇所、目視調査の内容、含有の状況の分析実施の際は採取箇所の図面及び分析結果など、石綿の使用・含有及び使用面積算出の根拠となる資料を添付すること。  
 2 設計図書等の根拠資料の種類を括弧内に記載すること。a 石綿含有建材データベース (国土交通省・経済産業省)、b メーカーの証明書・ホームページ、c JATI 協会無石綿情報、d その他 (具体的に根拠資料を記載)、e 設計図書等無し  
 3 目視による調査についてはその内容を括弧内に記載すること。A 外観、B 商品名の印字、C JIS 番号 D その他 (具体的に内容を記載)  
 4 備考欄には改修の着工の履歴など当該部位に係るその他情報を記載すること。  
 5 別紙3は必要に応じて複写し、階、部屋ごとに作成すること。

事前調査結果の詳細票 ( 5 枚目/ 7 枚中)

建築物等が設置された着工年月日		昭和 48 年 月 日		階	5	部屋名称	5 F 廊下3 (部屋番号 5 )				
部位	① 設計図書 (改修時の設計図書も含む)、目視による調査				② 石綿の含有の状況の分析による調査				③ 石綿の使用の状況		資料番号
	建材名、製品名等	備考	調査の方法	石綿含有	サンプリング	石綿含有	石綿の種類 (含有率)	備考	特定建材材料 (石綿含有建築材料) の種類 (材料レベル)	使用面積	
天井	化粧石膏ボード	改修:	<input checked="" type="checkbox"/> 設計図書等 (根拠資料の種類: <input checked="" type="checkbox"/> 目視 ( ) )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	W23 1372
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( ) )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( ) )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( ) )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( ) )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( ) )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	

1 設計図書の該当箇所、目視調査の内容、含有の状況の分析実施の際は採取箇所の図面及び分析結果など、石綿の使用・含有及び使用面積算出の根拠となる資料を添付すること。  
 2 設計図書等の根拠資料の種類を括弧内に記載すること。a 石綿含有建材データベース (国土交通省・経済産業省)、b メーカーの証明書・ホームページ、c JATI 協会無石綿情報、d その他 (具体的に根拠資料を記載)、e 設計図書等無し  
 3 目視による調査についてはその内容を括弧内に記載すること。A 外観、B 商品名の印字、C JIS 番号 D その他 (具体的に内容を記載)  
 4 備考欄には改修の着工の履歴など当該部位に係るその他情報を記載すること。  
 5 別紙3は必要に応じて複写し、階、部屋ごとに作成すること。

事前調査結果の詳細票 ( 6 枚目/ 7 枚中)

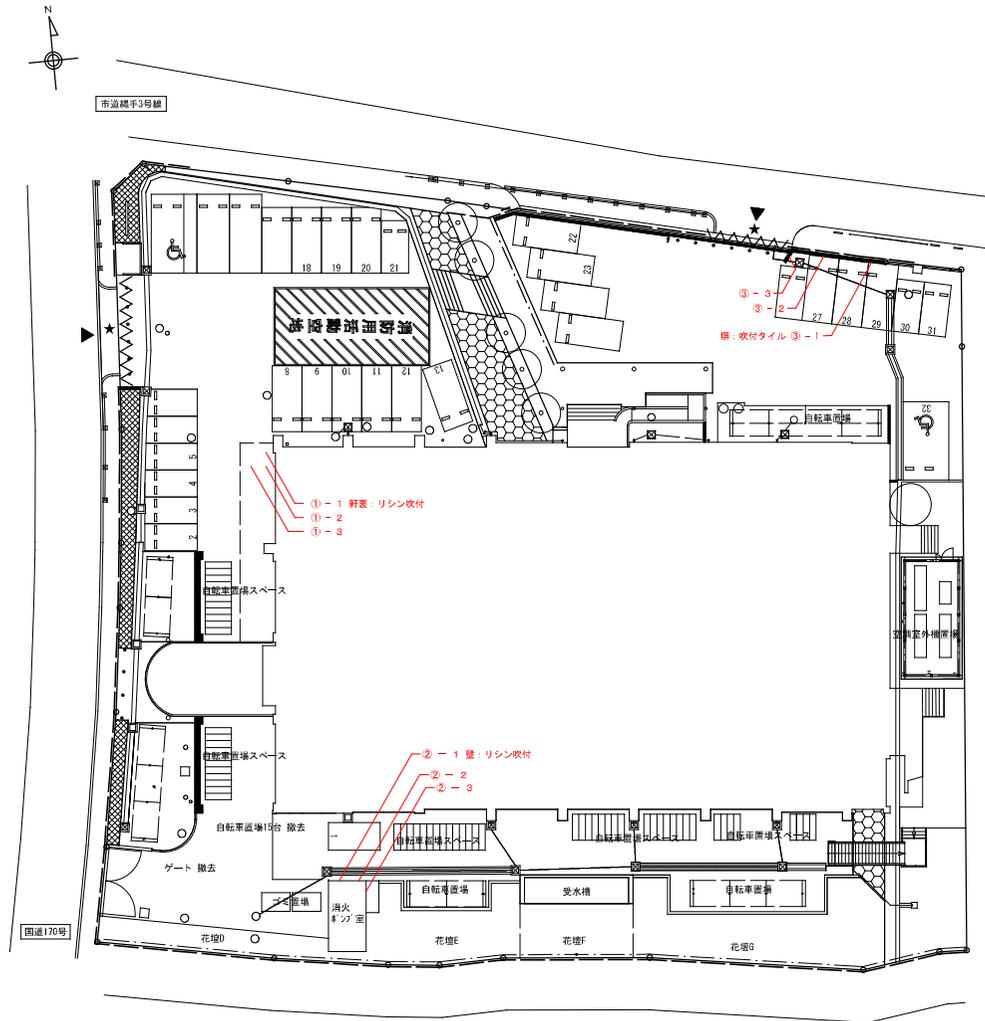
建築物等が設置された着工年月日		昭和 48 年 月 日		階	5	部屋名称	5 F 機械室 (部屋番号 6 )				
部位	① 設計図書 (改修時の設計図書も含む)、目視による調査				② 石綿の含有の状況の分析による調査				③ 石綿の使用の状況		資料番号
	建材名、製品名等	備考	調査の方法	石綿含有	サンプリング	石綿含有	石綿の種類 (含有率)	備考	特定建材材料 (石綿含有建築材料) の種類 (材料レベル)	使用面積	
天井	トムレックス	改修:	<input checked="" type="checkbox"/> 設計図書等 (根拠資料の種類: ) <input checked="" type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	クリソタイル  ( 0.3%)		クリソタイル  (レベル 1 )	13.5㎡	W23 1372
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( %)		(レベル )	㎡	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( %)		(レベル )	㎡	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( %)		(レベル )	㎡	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( %)		(レベル )	㎡	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( %)		(レベル )	㎡	

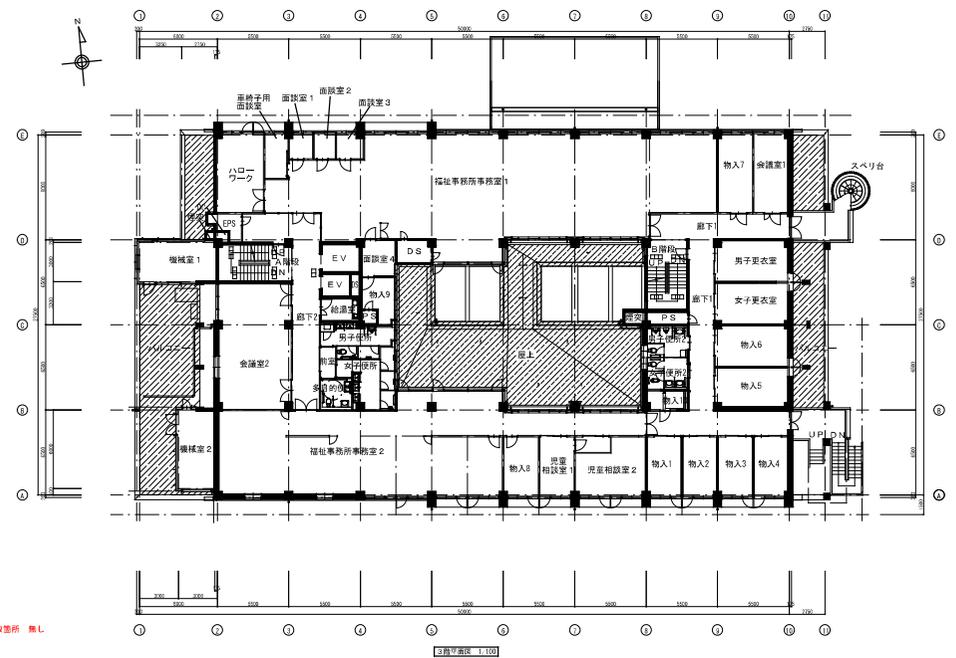
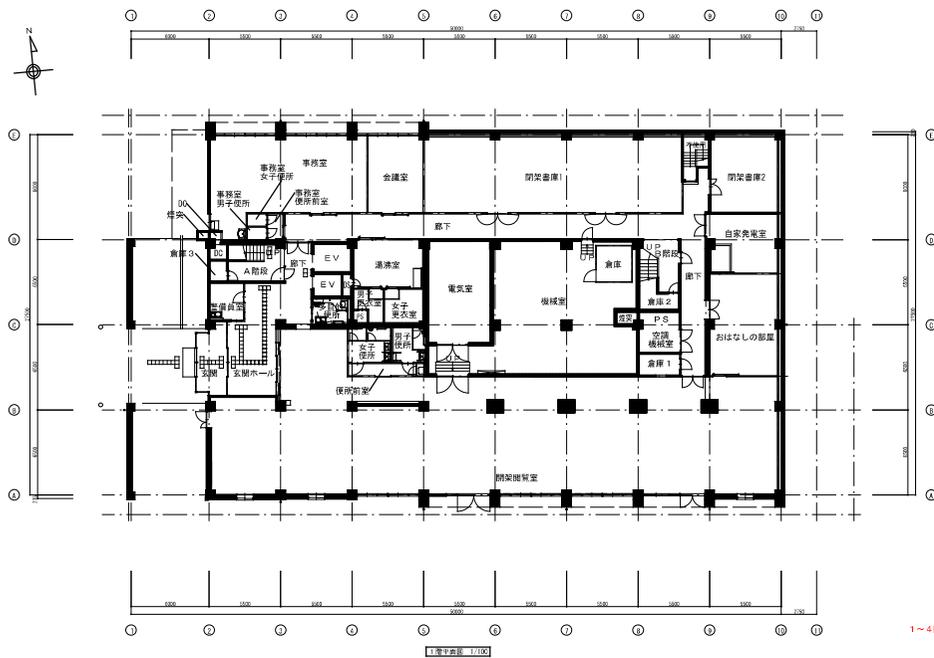
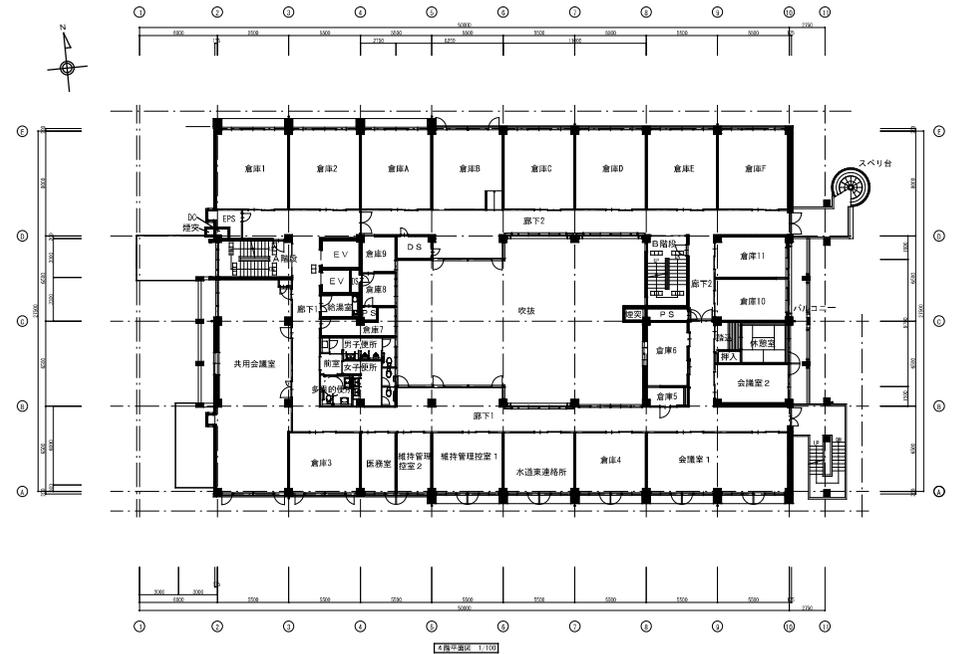
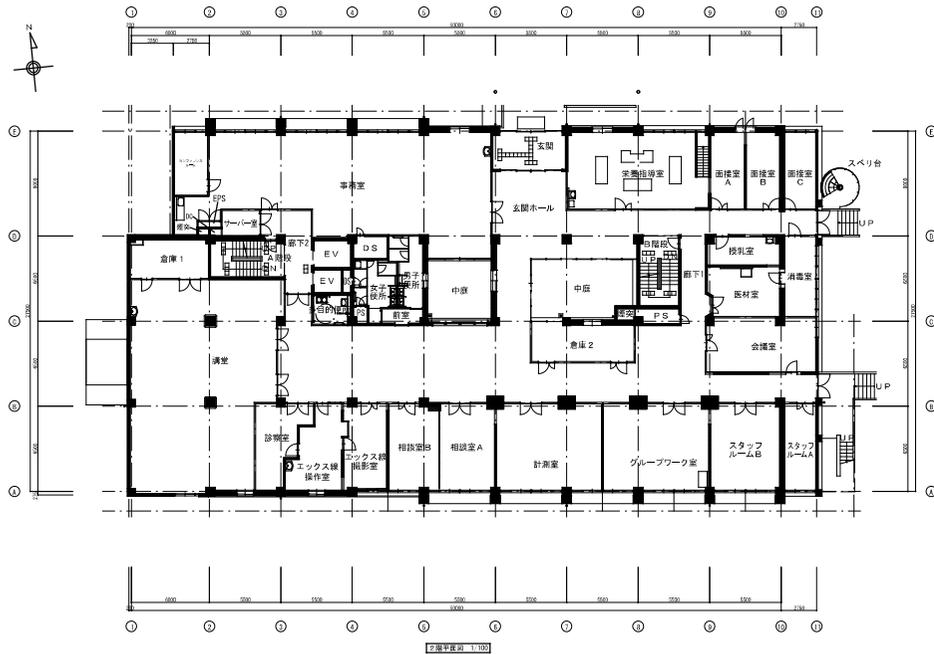
1 設計図書の該当箇所、目視調査の内容、含有の状況の分析実施の際は採取箇所の図面及び分析結果など、石綿の使用・含有及び使用面積算出の根拠となる資料を添付すること。  
 2 設計図書等の根拠資料の種類を括弧内に記載すること。a 石綿含有建材データベース (国土交通省・経済産業省)、b メーカーの証明書・ホームページ、c JATI 協会無石綿情報、d その他 (具体的に根拠資料を記載)、e 設計図書等無し  
 3 目視による調査についてはその内容を括弧内に記載すること。A 外観、B 商品名の印字、C JIS 番号 D その他 (具体的に内容を記載)  
 4 備考欄には改修の着工の履歴など当該部位に係るその他情報を記載すること。  
 5 別紙3は必要に応じて複写し、階、部屋ごとに作成すること。

事前調査結果の詳細票 ( 7 枚目/ 7 枚中)

建築物等が設置された着工年月日		昭和 48 年 月 日		階	5	部屋名称	5 F 倉庫 1 (部屋番号 7 )				
部位	① 設計図書 (改修時の設計図書も含む)、目視による調査				② 石綿の含有の状況の分析による調査				③ 石綿の使用の状況		資料番号
	建材名、製品名等	備考	調査の方法	石綿含有	サンプリング	石綿含有	石綿の種類 (含有率)	備考	特定建材材料 (石綿含有建築材料) の種類 (材料レベル)	使用面積	
床	ビニル巾木	改修:	<input checked="" type="checkbox"/> 設計図書等 (根拠資料の種類: <input checked="" type="checkbox"/> 目視 ( ) )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	W23 1372
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( ) )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( ) )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( ) )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( ) )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 ( ) <input type="checkbox"/> 目視 ( ) )	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	( % )		(レベル )	m <sup>2</sup>	

1 設計図書の該当箇所、目視調査の内容、含有の状況の分析実施の際は採取箇所の図面及び分析結果など、石綿の使用・含有及び使用面積算出の根拠となる資料を添付すること。  
 2 設計図書等の根拠資料の種類を括弧内に記載すること。a 石綿含有建材データベース (国土交通省・経済産業省)、b メーカーの証明書・ホームページ、c JATI 協会無石綿情報、d その他 (具体的に根拠資料を記載)、e 設計図書等無し  
 3 目視による調査についてはその内容を括弧内に記載すること。A 外観、B 商品名の印字、C JIS 番号 D その他 (具体的に内容を記載)  
 4 備考欄には改修の着工の履歴など当該部位に係るその他情報を記載すること。  
 5 別紙3は必要に応じて複写し、階、部屋ごとに作成すること。





1~4階まで 内装 解体採取箇所 無し



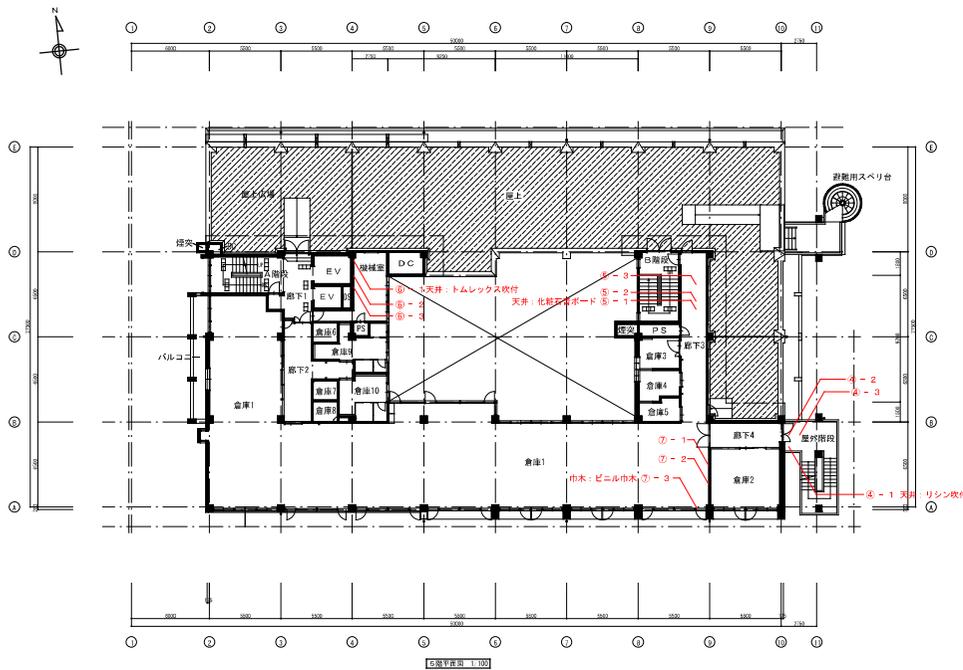
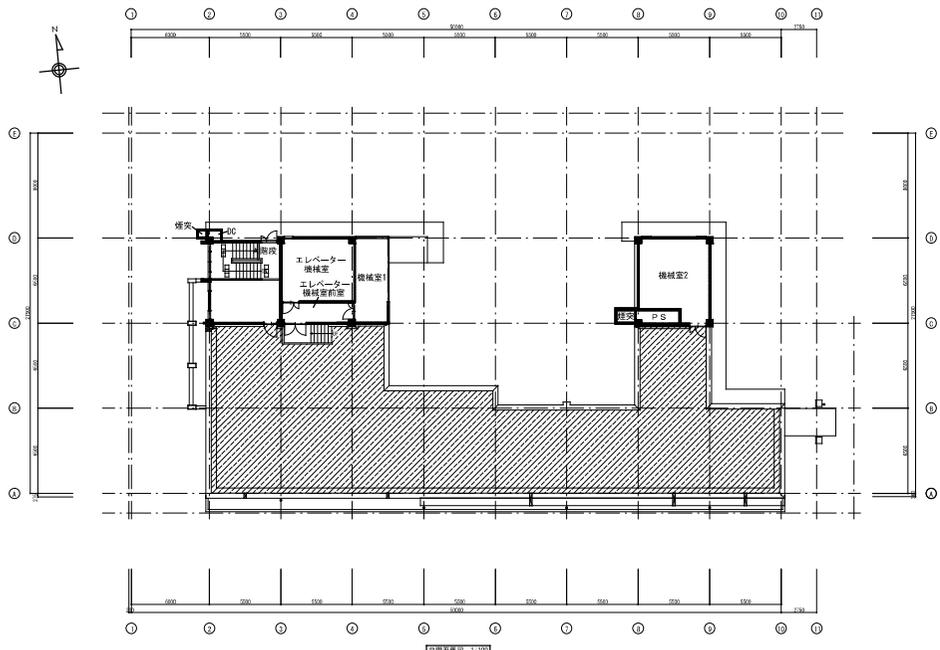
株式会社 サン設計事務所  
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (特) 第4705号

東部地域仮設庁舎解体工事

石綿含有検査検体 採取位置図 (2)

2023.11

A1 1/200





東部地域仮設庁舎解体工事

①-1~3

採取前 遠景

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



東部地域仮設庁舎解体工事

①-1

採取前 湿潤状況

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



東部地域仮設庁舎解体工事

①-1

採取状況

---

---

---

---

---

---

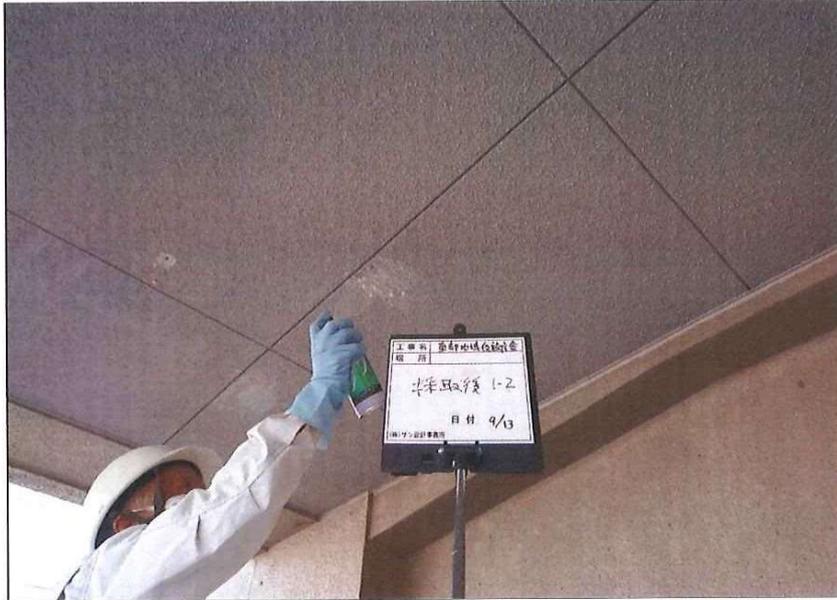
---

---

---

---

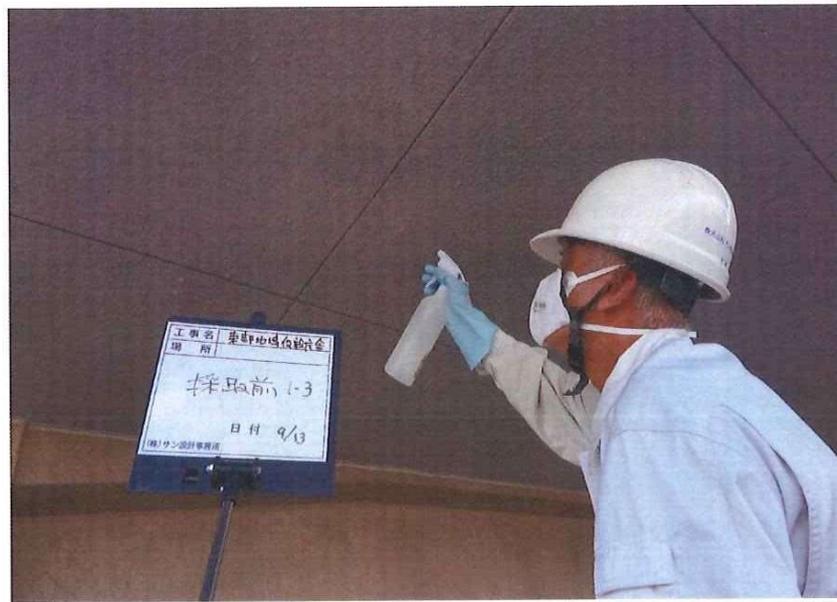




東部地域仮設庁舎解体工事

①—2

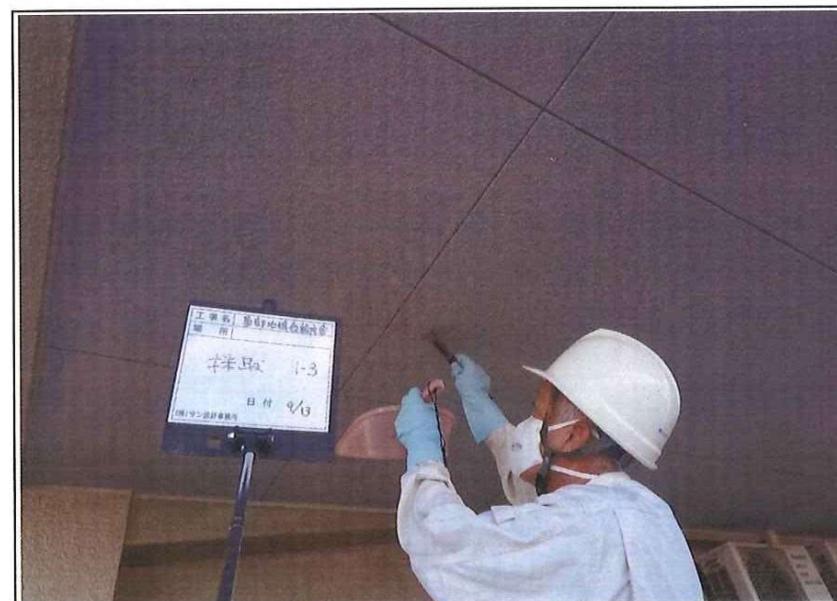
採取後 処理



東部地域仮設庁舎解体工事

①—3

採取前 湿潤状況



東部地域仮設庁舎解体工事

①—3

採取状況





東部地域仮設庁舎解体工事

2-1~3

採取前 遠景



東部地域仮設庁舎解体工事

②-1

採取前 養生・湿潤状況



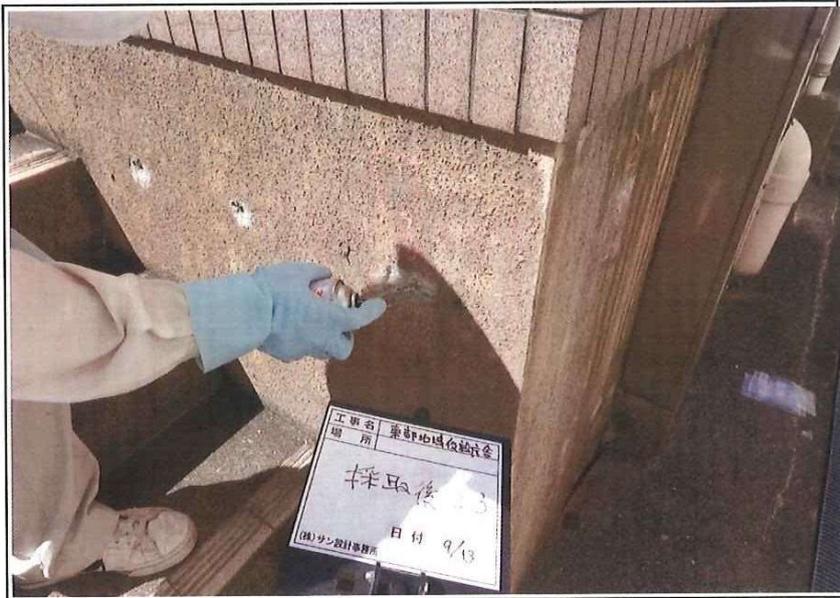
東部地域仮設庁舎解体工事

②-1

採取状況







東部地域仮設庁舎解体工事

②-3

採取後 処理状況



東部地域仮設庁舎解体工事

②-1~3

採取後 遠景



東部地域仮設庁舎解体工事

②-1~3

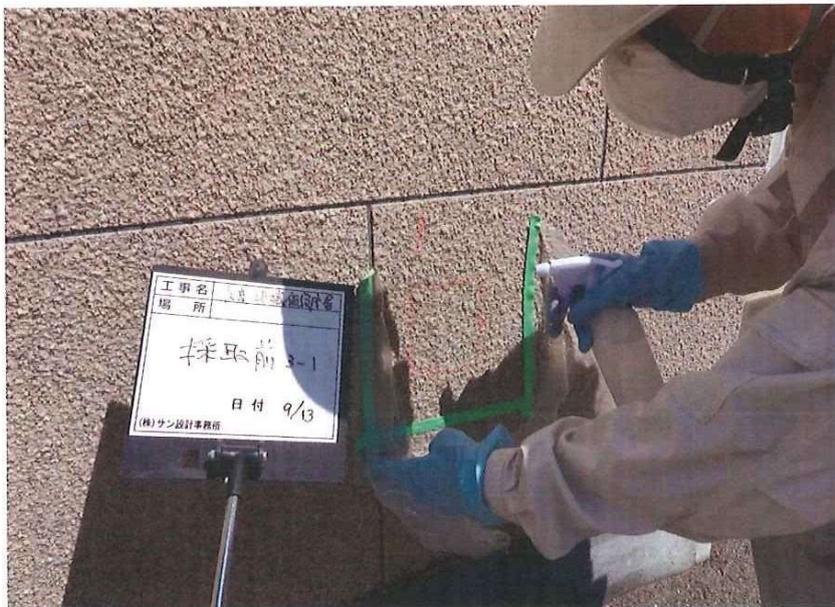
採取後 検体資料



東部地域仮設庁舎解体工事

3-1~3

採取前 遠景



東部地域仮設庁舎解体工事

③-1

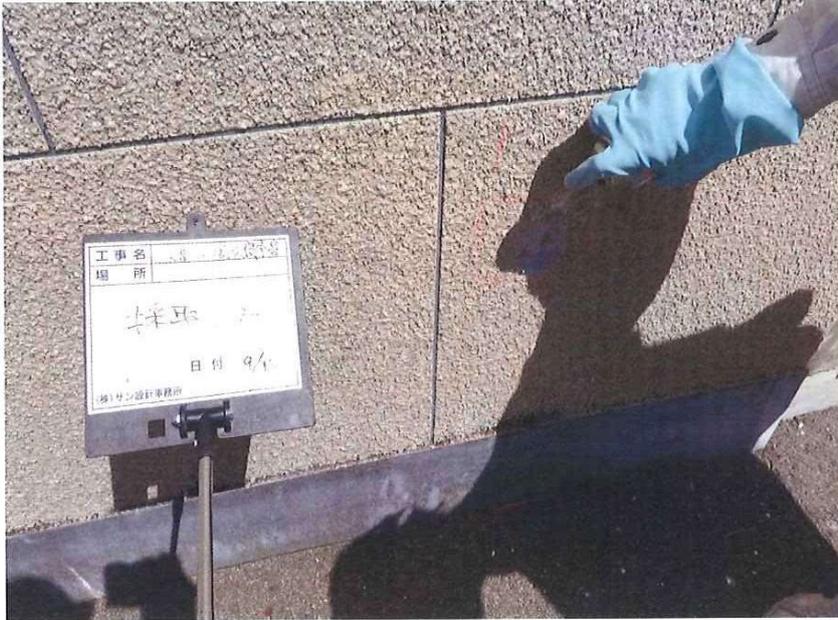
採取前 養生・湿潤状況



東部地域仮設庁舎解体工事

③-1

採取状況



東部地域仮設庁舎解体工事

③-1

採取後 処理状況

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



東部地域仮設庁舎解体工事

③-2

採取前 養生・湿潤状況

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



東部地域仮設庁舎解体工事

③-2

採取状況

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



東部地域仮設庁舎解体工事

③-2

採取後 処理状況

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



東部地域仮設庁舎解体工事

③-3

採取前 養生・湿潤状況

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



東部地域仮設庁舎解体工事

③-3

採取状況

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



東部地域仮設庁舎解体工事

③-3

採取後 処理状況

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



東部地域仮設庁舎解体工事

③-1~3

採取後 遠景

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



東部地域仮設庁舎解体工事

③-1~3

採取後 検体資料

---

---

---

---

---

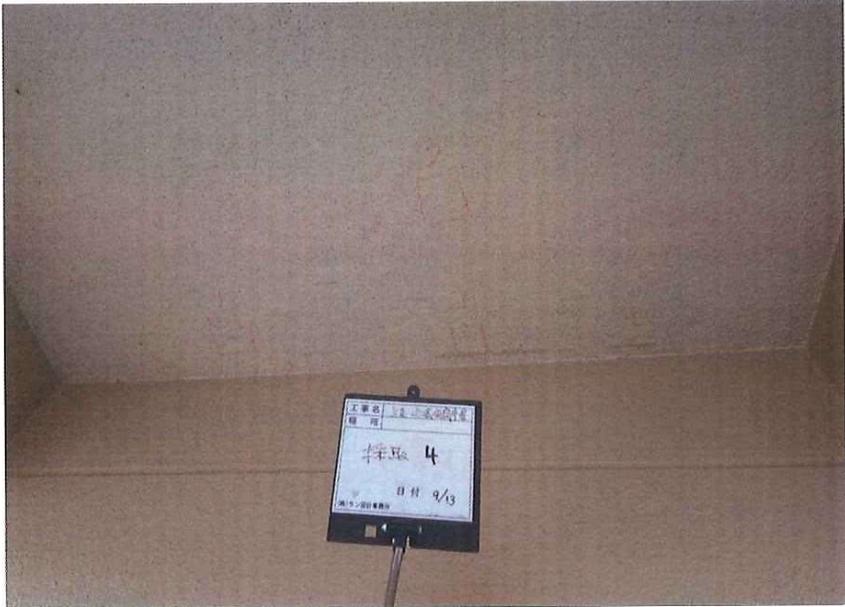
---

---

---

---

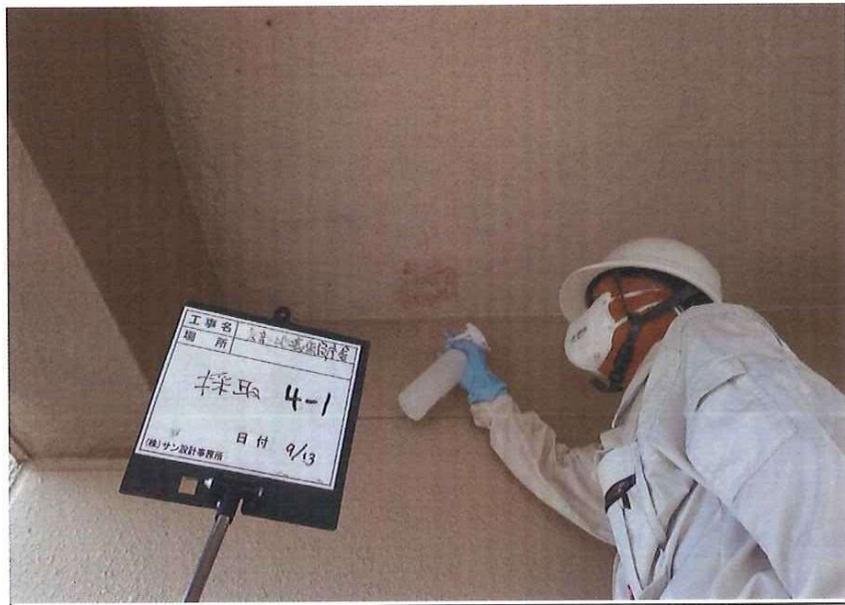
---



東部地域仮設庁舎解体工事

④-1-3

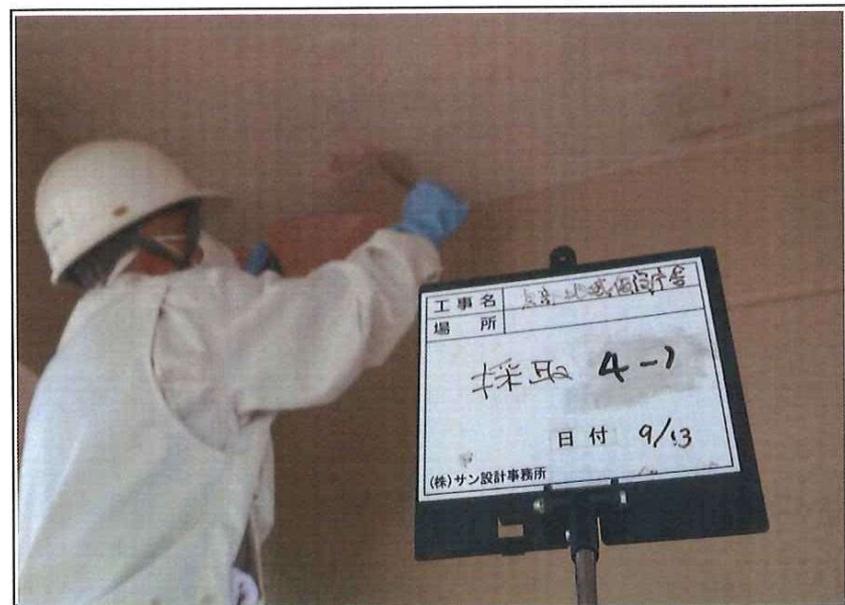
採取前 遠景



東部地域仮設庁舎解体工事

④-1

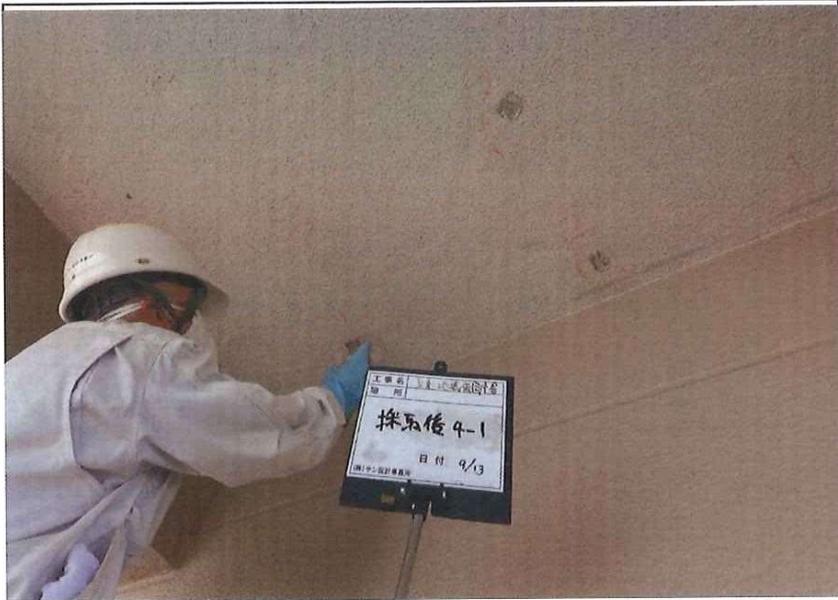
採取前 湿潤状況



東部地域仮設庁舎解体工事

④-1

採取状況



東部地域仮設庁舎解体工事

④-1

採取後 処理状況

---

---

---

---

---

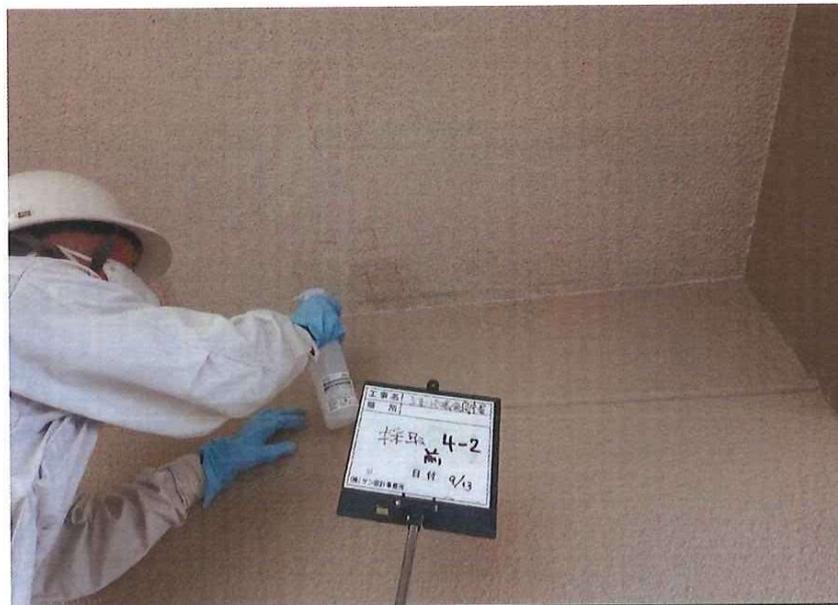
---

---

---

---

---



東部地域仮設庁舎解体工事

④-2

採取前 湿潤状況

---

---

---

---

---

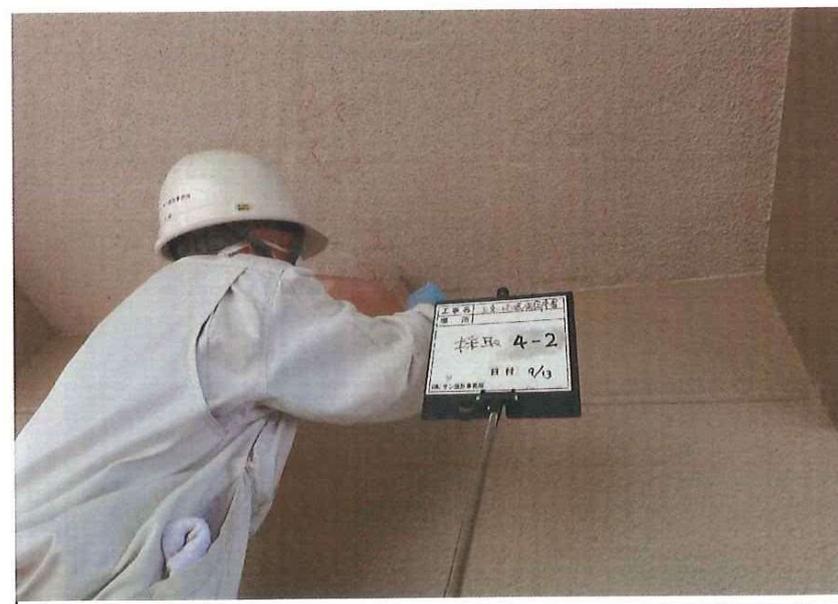
---

---

---

---

---



東部地域仮設庁舎解体工事

④-2

採取状況

---

---

---

---

---

---

---

---

---

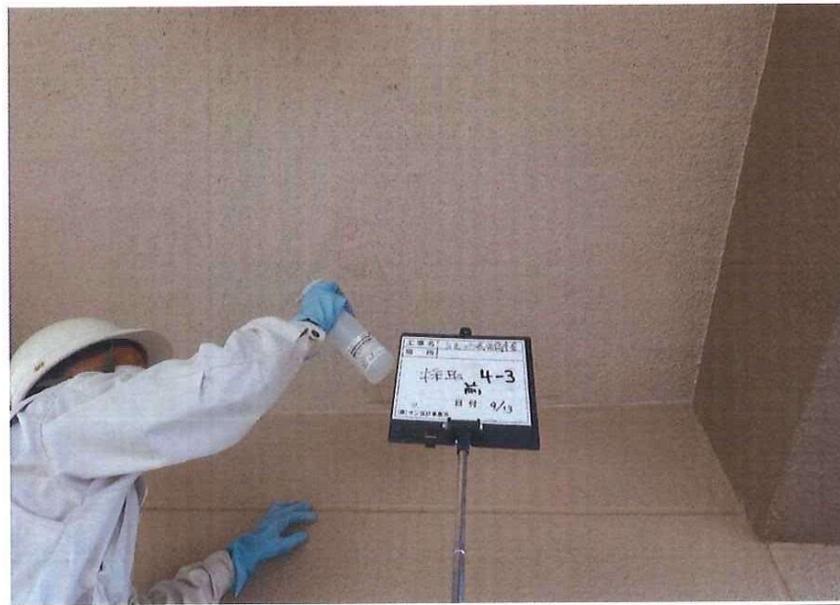
---



東部地域仮設庁舎解体工事

④-2

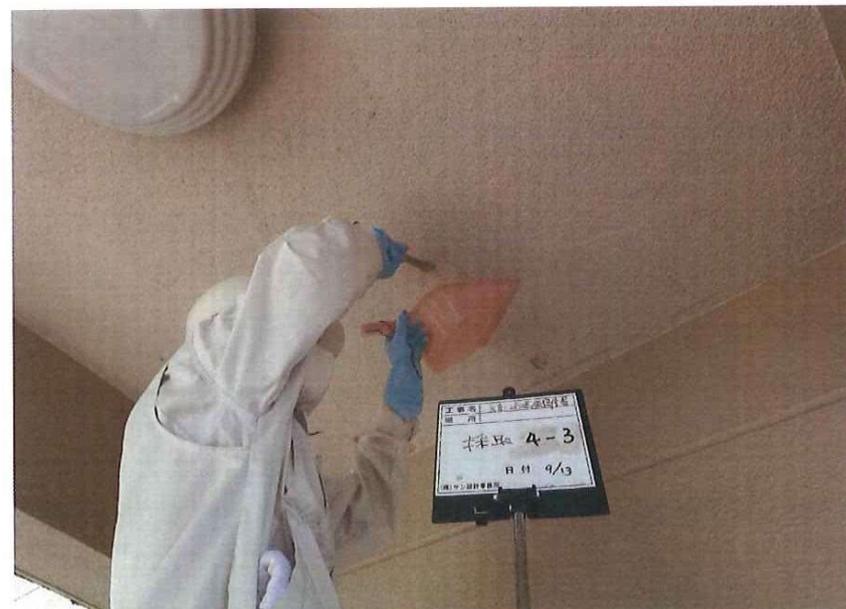
採取後 処理状況



東部地域仮設庁舎解体工事

④-3

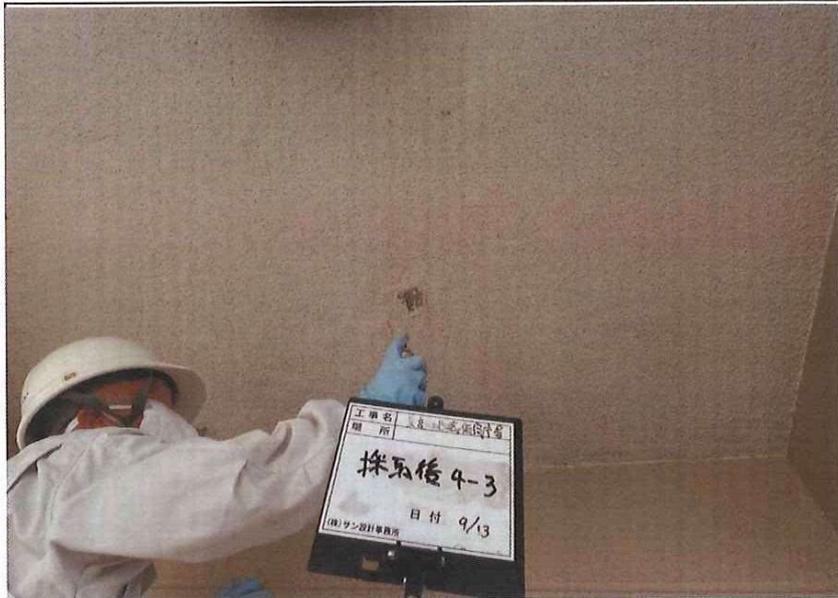
採取前 湿潤状況



東部地域仮設庁舎解体工事

④-3

採取状況



東部地域仮設庁舎解体工事

④-3

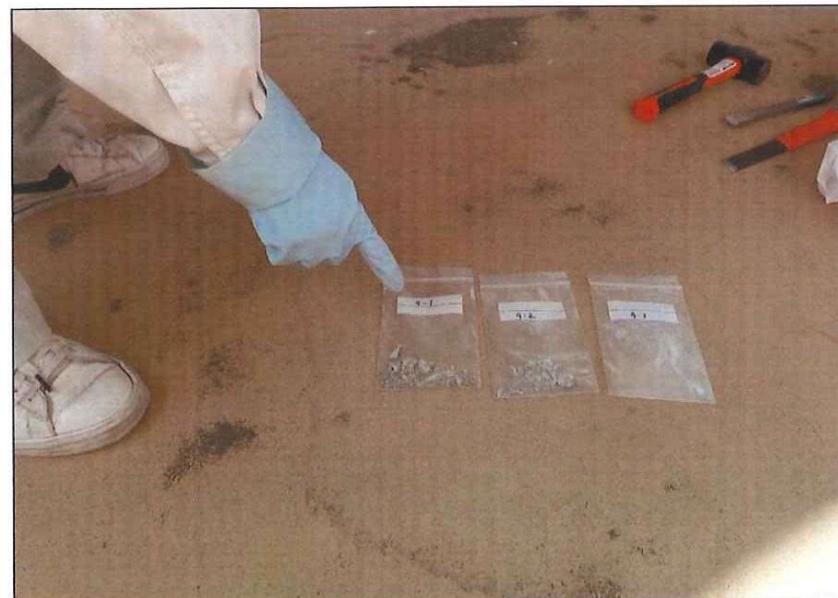
採取後 処理状況



東部地域仮設庁舎解体工事

④-1~3

採取後 遠景



東部地域仮設庁舎解体工事

④-1~3

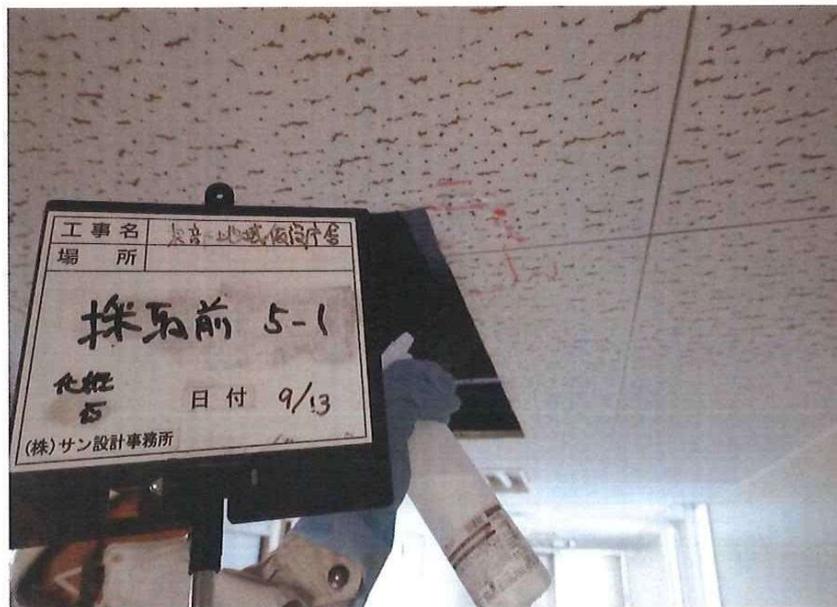
採取後 検体資料



東部地域仮設庁舎解体工事

⑤-1~3

採取前 遠景



東部地域仮設庁舎解体工事

⑤-1

採取前 湿潤状況



東部地域仮設庁舎解体工事

⑤-1

採取状況





東部地域仮設庁舎解体工事

⑤-2

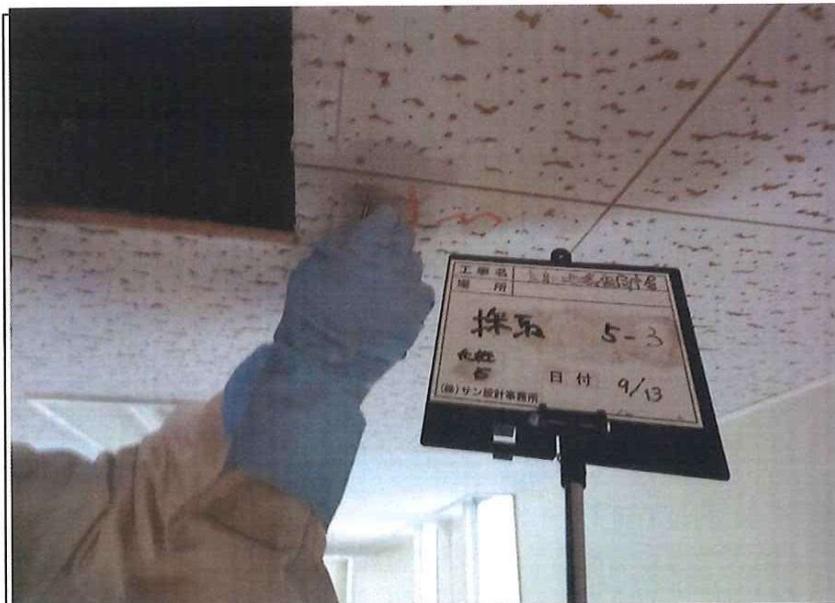
採取後 処理状況



東部地域仮設庁舎解体工事

⑤-3

採取前 湿潤状況



東部地域仮設庁舎解体工事

⑤-3

採取状況



東部地域仮設庁舎解体工事

⑤-3

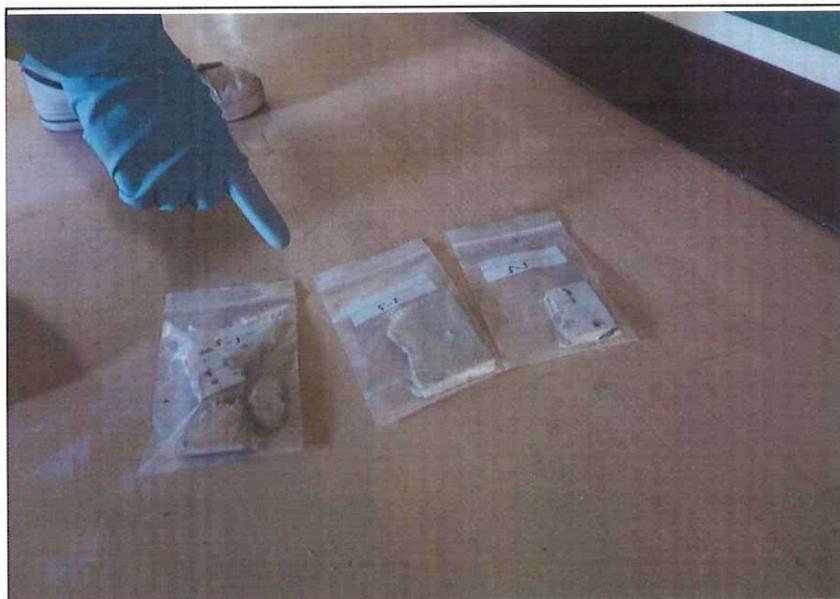
採取後 処理状況



東部地域仮設庁舎解体工事

⑤-1~3

採取後 遠景



東部地域仮設庁舎解体工事

⑤-1~3

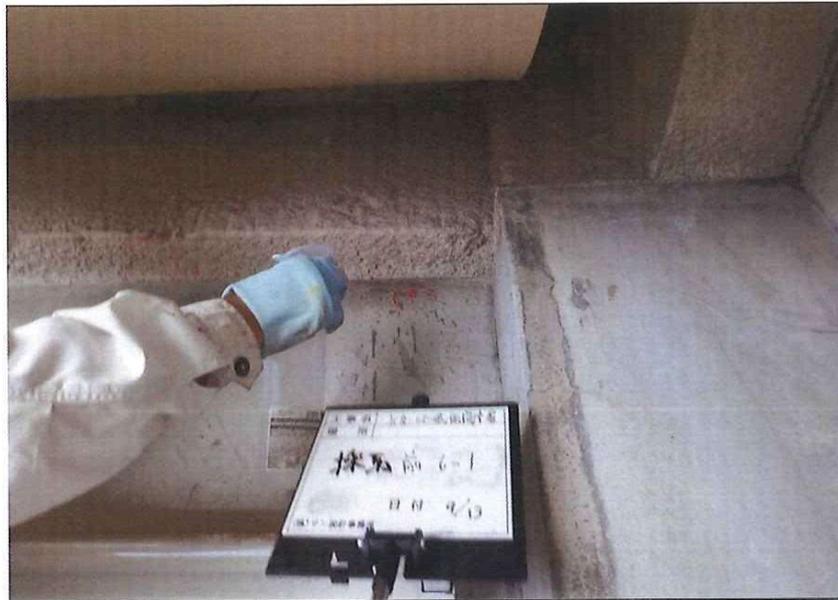
採取後 検体資料



東部地域仮設庁舎解体工事

⑥-1~3

採取前 遠景



東部地域仮設庁舎解体工事

⑥-1

採取前 湿潤状況



東部地域仮設庁舎解体工事

⑥-1

採取状況





東部地域仮設庁舎解体工事

⑥-2

採取後 処理状況

---

---

---

---

---

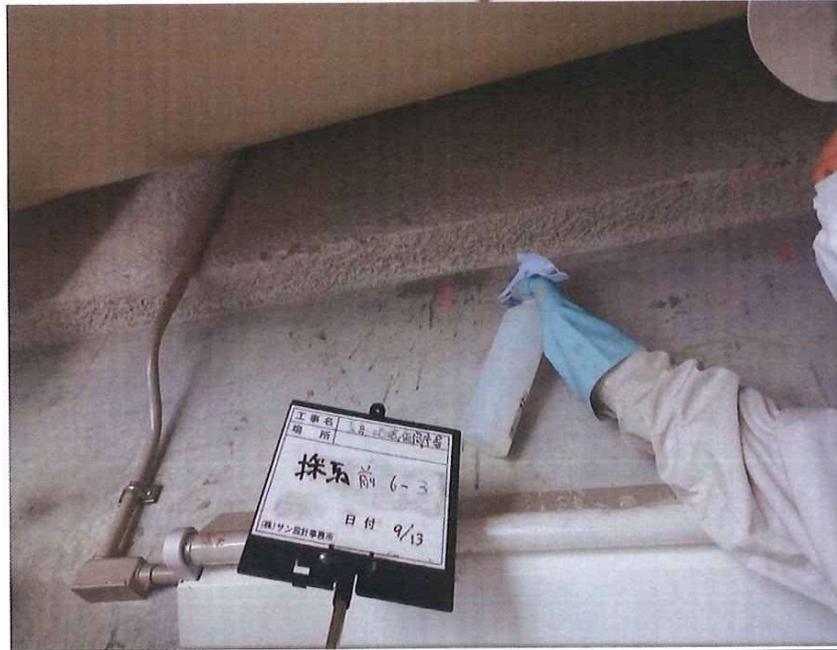
---

---

---

---

---



東部地域仮設庁舎解体工事

⑥-3

採取前 湿潤状況

---

---

---

---

---

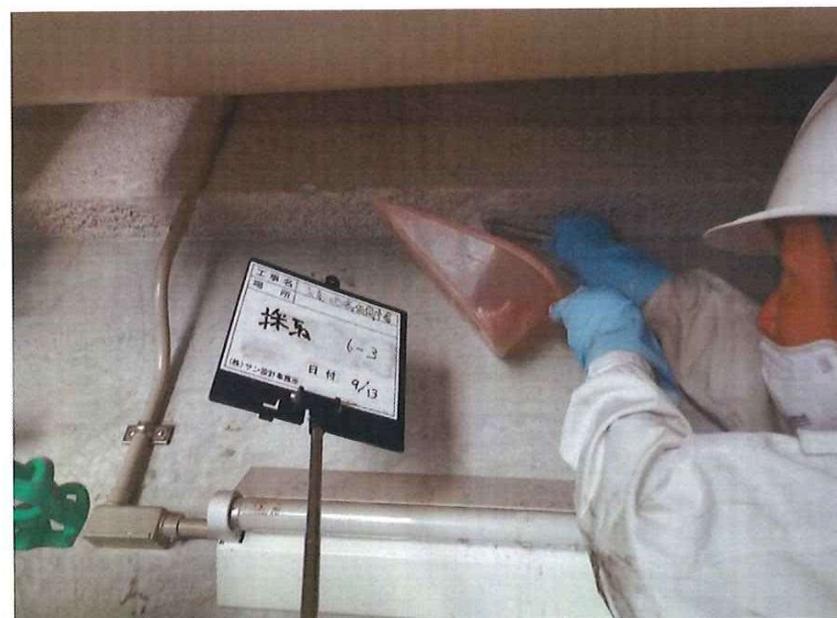
---

---

---

---

---



東部地域仮設庁舎解体工事

⑥-3

採取状況

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



東部地域仮設庁舎解体工事

⑥—3

採取後 処理状況

---

---

---

---

---

---

---

---



東部地域仮設庁舎解体工事

⑥—1~3

採取後 遠景

---

---

---

---

---

---

---

---



東部地域仮設庁舎解体工事

⑥—1~3

採取後 検体資料

---

---

---

---

---

---

---

---



東部地域仮設庁舎解体工事

⑦-1~3

採取前 遠景

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



東部地域仮設庁舎解体工事

⑦-1

採取前 湿潤状況

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



東部地域仮設庁舎解体工事

⑦-1

採取状況

---

---

---

---

---

---

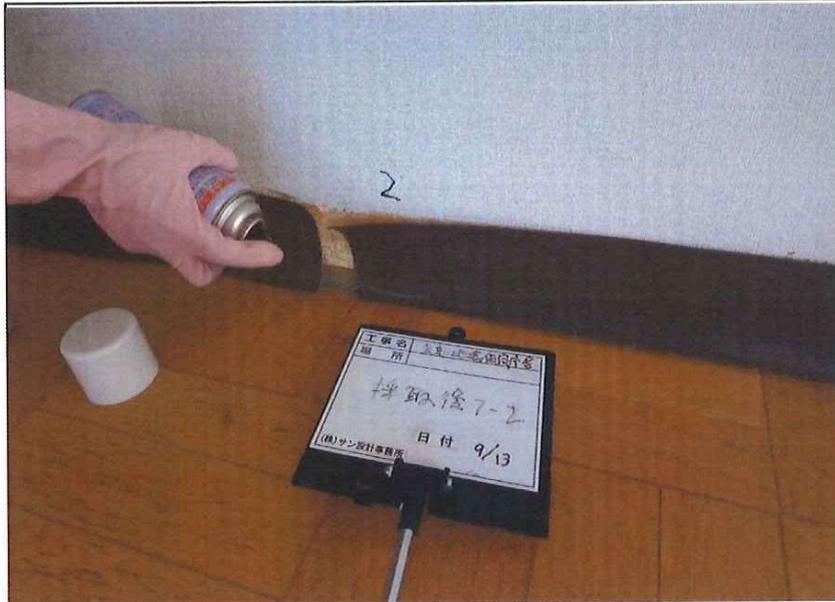
---

---

---

---





東部地域仮設庁舎解体工事

⑦-2

採取後 処理



東部地域仮設庁舎解体工事

⑦-3

採取前 湿潤状況



東部地域仮設庁舎解体工事

⑦-3

採取状況



東部地域仮設庁舎解体工事

⑦-3

採取後 処理



東部地域仮設庁舎解体工事

⑦-1~3

採取後 遠景



東部地域仮設庁舎解体工事

⑦-1~3

採取後 検体資料

## 分析試験結果報告書

東大阪市 御中

株式会社

協会

大阪府吹田

10番2号

TEL:06-6387

187-1516

貴依頼による石綿分析の結果は、以下に記載したとおりであることを証明します。  
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

件名	東部地域仮設庁舎解体工事に係る設計業務
分析実施日	令和5年9月28日～令和5年10月6日
分析内容	石綿含有率分析
分析方法	分析マニュアル第3章. 定性分析方法1 (偏光顕微鏡法) による定性分析方法 分析マニュアル第4章. 定性分析方法2 (X線回折分析法、位相差分散顕微鏡法) による定性分析方法 分析マニュアル第5章. 定量分析方法1 (X線回折分析法) による定量分析方法
分析実施者	森島 千栄 JIS A 1481-1 : 2016、JIS A 1481-5 : 2021 (Aランク2213A0119号) 上野 洸 JIS A 1481-1 : 2016、JIS A 1481-5 : 2021 (Aランク2213A0120号) 森島 千栄 JIS A 1481-2 : 2016、JIS A 1481-3 : 2014 (Aランク2111A0094号) 上野 洸 JIS A 1481-2 : 2016、JIS A 1481-3 : 2014 (Aランク2111A0095号)

## 分析結果

試料No.	試料名称	定性分析結果		定量分析結果
		石綿含有の有無	石綿の種類	石綿含有率 (%)
1	1F ピロティ	有・	—	—
2	消化ポンプ室	有・	—	—
3	東側駐車場	・無	Chr	0.1
4	5F 外部階段	有・	—	—
5	5F 廊下3	有・	—	—
6	5F 機械室	・無	Chr	0.3
7	5F 倉庫1	有・	—	—

注1) 石綿の種類の中には、次の記号で記載している。

Chr : クリソタイル Amo : アモサイト Cro : クロシドライト

Tre/Act : トレモライト/アクチノライト Ant : アンソフィライト

【分析マニュアル第4章. 定性分析方法2(X線回折分析法、位相差分散顕微鏡法)による定性分析方法】

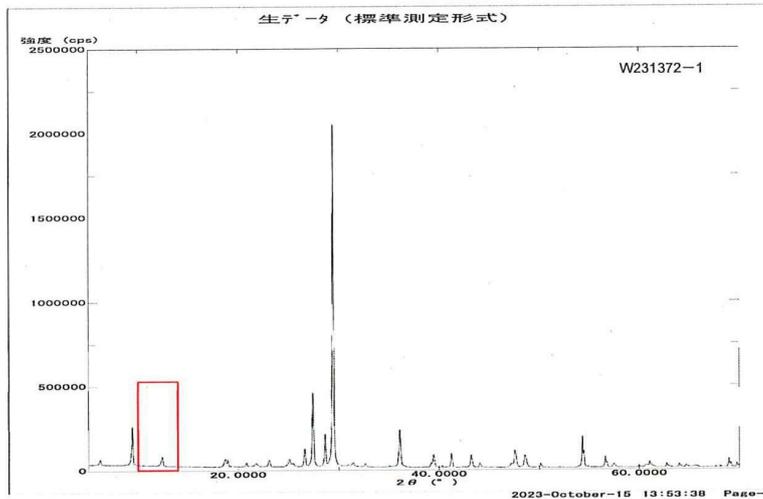
【試料採取履歴】

試料名称	1F ピロティ		
採取年月日	令和5年9月13日		
建材名称	リシン		
建物名称	東部地域仮設庁舎	用途	公共施設
試料採取場所	1F ピロティ	試料採取部位	天井
試料施工年及び建築物への施工などを採用した年	昭和48年8月		
試料の概要	形状又は材質	粉状	
	試料の大きさ	約300cm <sup>2</sup>	
	採取方法	削り取り	
採取者氏名			

【定性分析データ】

X線回折の結果		顕微鏡による確認結果		判定結果
X線回折ピーク	石綿の種類	浸液の種類	繊維状粒子数 /3000粒子数	
有 ・ 〇	—	1.550	0	不 検 出
		1.620	0	
		1.680	0	

【X線回折図】



※このピークは12° ~13° の間に検出していますが、石綿のピークではありません。

【位相差・分散顕微鏡法による分析用試料の写真】



(屈折率  $n_D^{25^\circ}$  : 1.550 )

(屈折率  $n_D^{25^\circ}$  : 1.620 )

(屈折率  $n_D^{25^\circ}$  : 1.680 )

【分析マニュアル第4章. 定性分析方法2(X線回折分析法、位相差分散顕微鏡法)による定性分析方法】

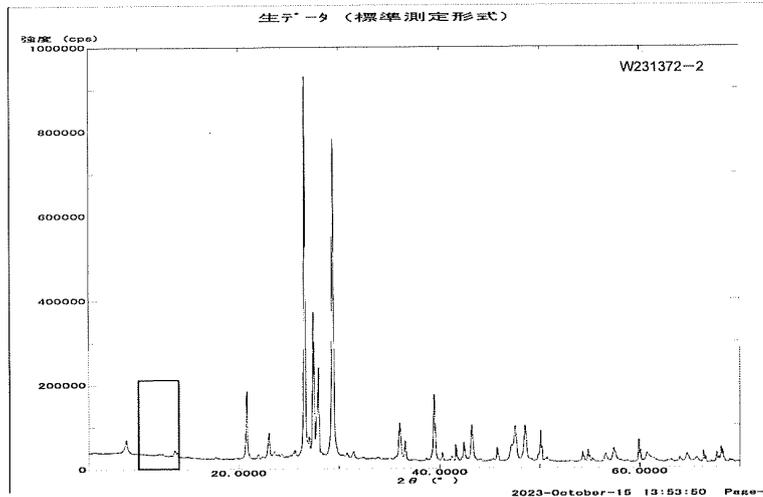
【試料採取履歴】

試料名称	消化ポンプ室		
採取年月日	令和5年9月13日		
建材名称	リシン		
建物名称	東部地域仮設庁舎	用途	公共施設
試料採取場所	消火ポンプ室	試料採取部位	壁
試料施工年及び建築物への施工などを採用した年	昭和48年8月		
試料の概要	形状又は材質	粉状	
	試料の大きさ	約300cm <sup>2</sup>	
	採取方法	削り取り	
採取者氏名			

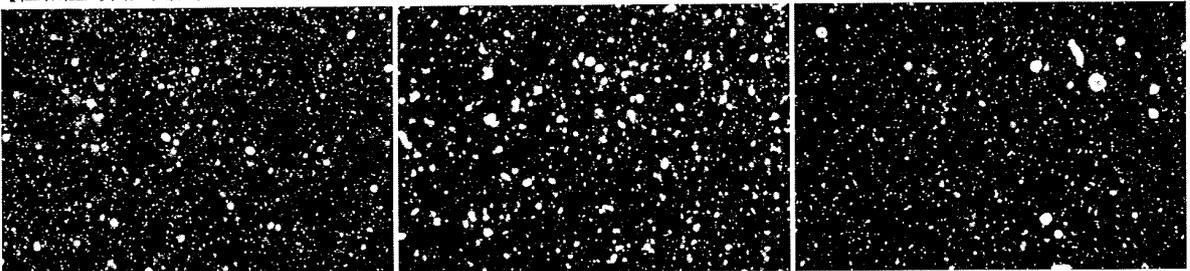
【定性分析データ】

X線回折の結果		顕微鏡による確認結果		判定結果
X線回折ピーク	石綿の種類	浸液の種類	繊維状粒子数 /3000粒子数	
有 ・ ④	—	1.550	0	不 検 出
		1.620	0	
		1.680	0	

【X線回折図】



【位相差・分散顕微鏡法による分析用試料の写真】



(屈折率  $n_D^{25^\circ}$  : 1.550 )

(屈折率  $n_D^{25^\circ}$  : 1.620 )

(屈折率  $n_D^{25^\circ}$  : 1.680 )

【分析マニュアル第3章. 定性分析方法1(偏光顕微鏡法)による定性分析方法】

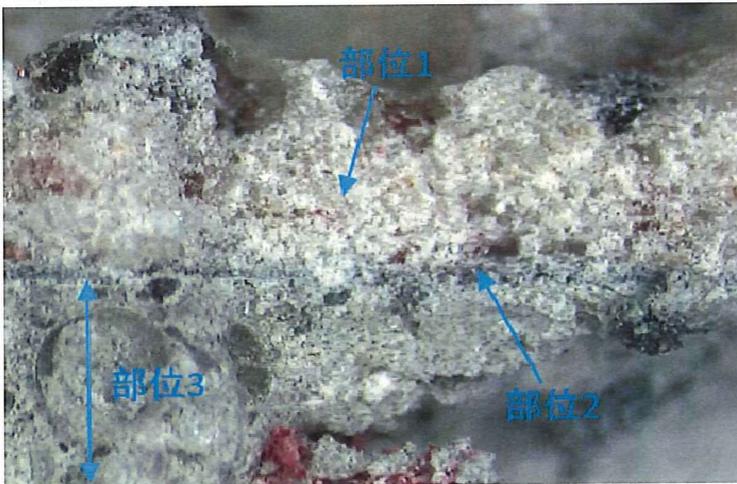
【試料採取履歴】

試料名称	東側駐車場		
採取年月日	令和5年9月13日		
建材名称	吹付タイル		
建物名称	東部地域仮設庁舎	用途	公共施設
試料採取場所	東側駐車場コンクリート塀	試料採取部位	壁
試料施工年及び建築物への施工などを採用した年	昭和48年8月		
試料の概要	形状又は材質	塗膜状	
	試料の大きさ	約300cm <sup>2</sup>	
	採取方法	削り取り	
採取者氏名			

【観察検体の詳細】

部位	色	割合	石綿含有の有無	石綿の種類	推定質量分率(%)
部位1	薄黄	38	無	—	無検出
部位2	グレー	2	有	クリソタイル	0.1-5
部位3	グレー	60	無	—	無検出

【観察検体写真】



【検出された石綿繊維の偏光顕微鏡による観察写真】

部位	530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける写真	分散顕微鏡法で鋭敏色を確認した写真
部位2		

【分析マニュアル第4章. 定性分析方法2 (X線回折分析法、位相差分散顕微鏡法) による定性分析方法】

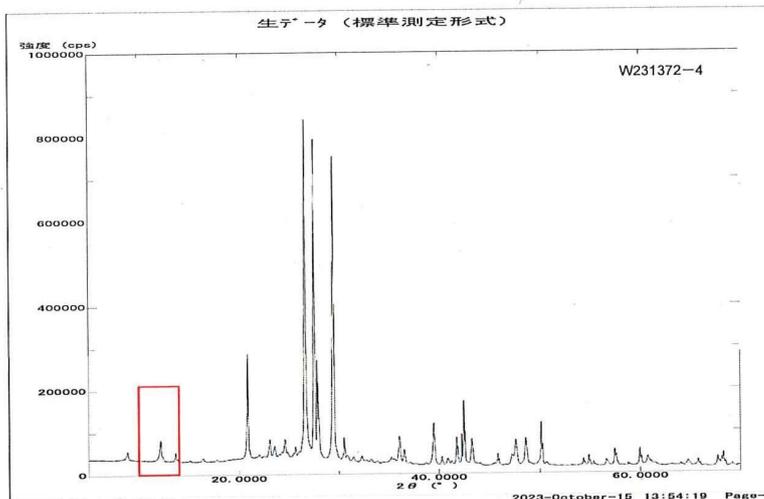
【試料採取履歴】

試料名称	5F 外部階段		
採取年月日	令和5年9月13日		
建材名称	リシン		
建物名称	東部地域仮設庁舎	用途	公共施設
試料採取場所	5F 外部階段	試料採取部位	天井
試料施工年及び建築物への施工などを採用した年	昭和48年8月		
試料の概要	形状又は材質	粉状	
	試料の大きさ	約300cm <sup>2</sup>	
	採取方法	削り取り	
採取者氏名			

【定性分析データ】

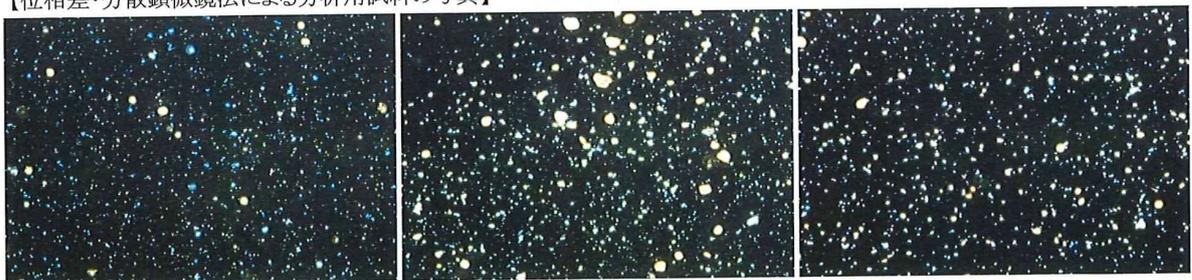
X線回折の結果		顕微鏡による確認結果		判定結果
X線回折ピーク	石綿の種類	浸液の種類	繊維状粒子数 / 3000粒子数	
有 ・ 〇	—	1.550	0	不 検 出
		1.620	0	
		1.680	0	

【X線回折図】



※このピークは12° ~13° の間に検出していますが、石綿のピークではありません。

【位相差・分散顕微鏡法による分析用試料の写真】



(屈折率  $n_D^{25^\circ}$  : 1.550 )

(屈折率  $n_D^{25^\circ}$  : 1.620 )

(屈折率  $n_D^{25^\circ}$  : 1.680 )

【分析マニュアル第4章. 定性分析方法2(X線回折分析法、位相差分散顕微鏡法)による定性分析方法】

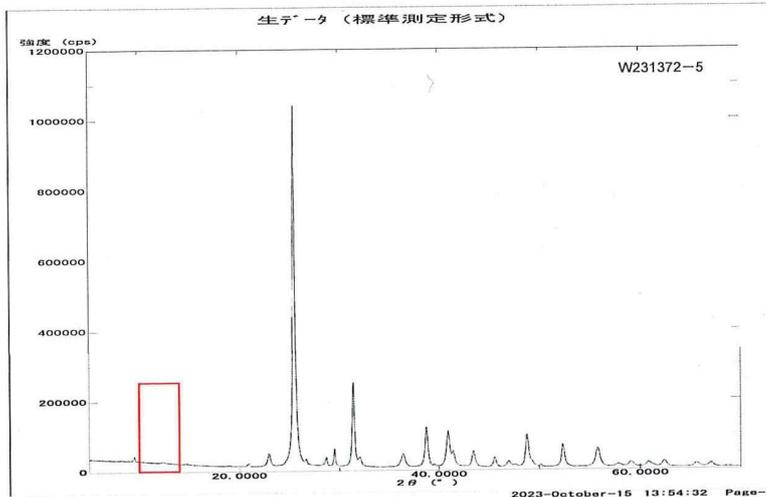
【試料採取履歴】

試料名称	5F 廊下3		
採取年月日	令和5年9月13日		
建材名称	化粧石膏ボード		
建物名称	東部地域仮設庁舎	用途	公共施設
試料採取場所	5F 廊下3	試料採取部位	天井
試料施工年及び建築物への施工などを採用した年	昭和48年8月		
試料の概要	形状又は材質	板状	
	試料の大きさ	約300cm <sup>2</sup>	
	採取方法	切取り	
採取者氏名			

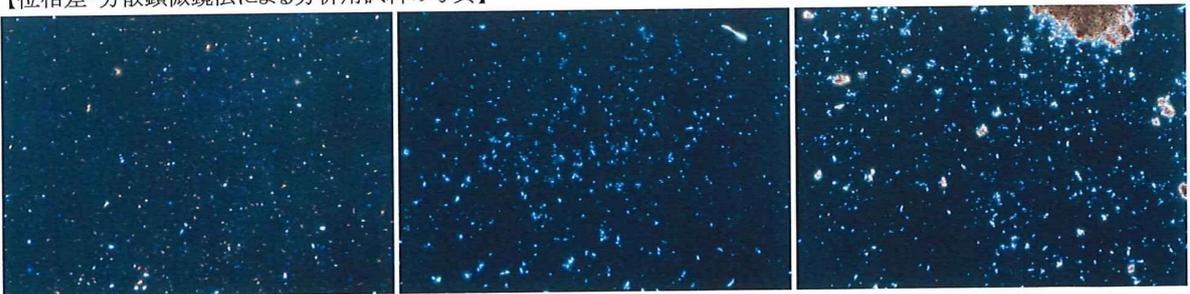
【定性分析データ】

X線回折の結果		顕微鏡による確認結果		判定結果
X線回折ピーク	石綿の種類	浸液の種類	繊維状粒子数 /3000粒子数	
有 ・ 無	—	1.550	0	不 検 出
		1.620	0	
		1.680	0	

【X線回折図】



【位相差・分散顕微鏡法による分析用試料の写真】



(屈折率  $n_D^{25^\circ}$  : 1.550 )

(屈折率  $n_D^{25^\circ}$  : 1.620 )

(屈折率  $n_D^{25^\circ}$  : 1.680 )

【分析マニュアル第4章. 定性分析方法2(X線回折分析法、位相差分散顕微鏡法)による定性分析方法】

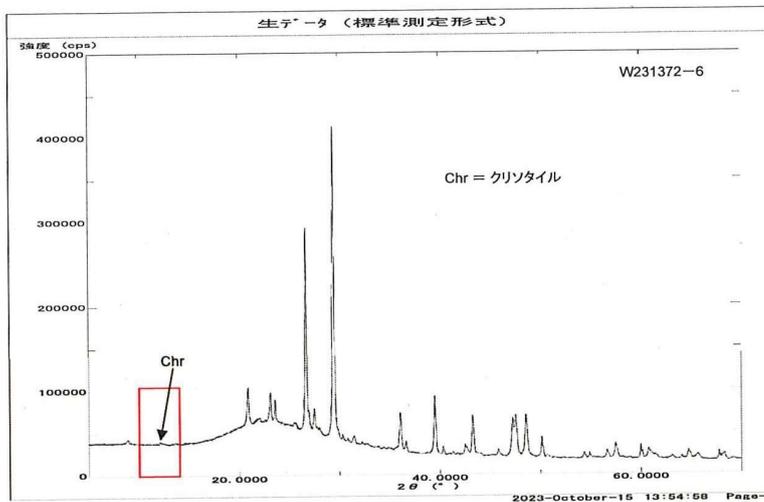
【試料採取履歴】

試料名称	5F 機械室		
採取年月日	令和5年9月13日		
建材名称	トムレックス		
建物名称	東部地域仮設庁舎	用途	公共施設
試料採取場所	5F 機械室	試料採取部位	天井材
試料施工年及び建築物への施工などを採用した年	昭和48年8月		
試料の概要	形状又は材質	綿状	
	試料の大きさ	約300cm <sup>3</sup>	
	採取方法	削り取り	
採取者氏名			

【定性分析データ】

X線回折の結果		顕微鏡による確認結果		判定結果
X線回折ピーク	石綿の種類	浸液の種類	繊維状粒子数 /3000粒子数	
⑨・無	クリソタイル	1.550	4	検出

【X線回折図】



※このピークは12° ~13° の間に検出していますが、石綿のピークではありません。

【位相差・分散顕微鏡法による分析用試料の写真】



(屈折率  $n_D^{25^\circ}$  : 1.550 )

【分析マニュアル第4章. 定性分析方法2 (X線回折分析法、位相差分散顕微鏡法) による定性分析方法】

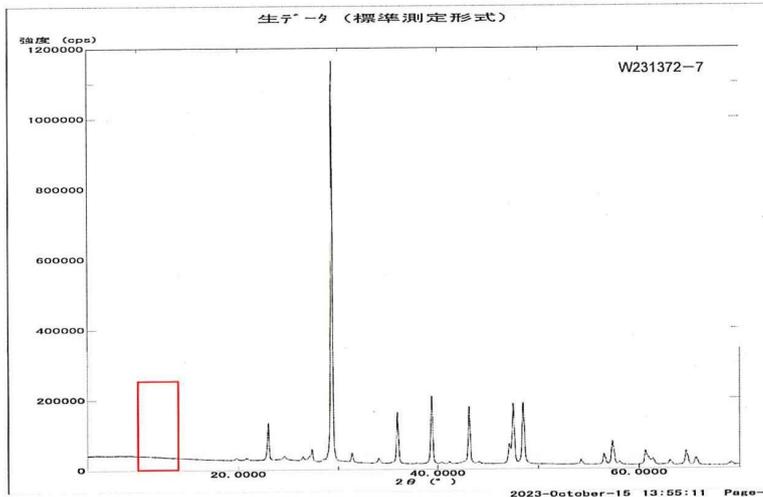
【試料採取履歴】

試料名称	5F 倉庫1		
採取年月日	令和5年9月13日		
建材名称	ビニル巾木		
建物名称	東部地域仮設庁舎	用途	公共施設
試料採取場所	5F 倉庫1	試料採取部位	巾木
試料施工年及び建築物への施工などを採用した年	昭和48年8月		
試料の概要	形状又は材質	板状	
	試料の大きさ	約300cm <sup>2</sup>	
	採取方法	切り取り	
採取者氏名			

【定性分析データ】

X線回折の結果		顕微鏡による確認結果		判定結果
X線回折ピーク	石綿の種類	浸液の種類	繊維状粒子数 / 3000粒子数	
有 ・ ⊕	—	1.550	0	不検出
		1.620	0	
		1.680	0	

【X線回折図】



【位相差・分散顕微鏡法による分析用試料の写真】



(屈折率  $n_D^{25^\circ}$  : 1.550 )

(屈折率  $n_D^{25^\circ}$  : 1.620 )

(屈折率  $n_D^{25^\circ}$  : 1.680 )



### 【分析マニュアル第3章. 定性分析方法1（偏光顕微鏡法）による定性分析方法】

実体顕微鏡を用いて検体全体の観察を行い、繊維状物質をスライドガラス上にピックアップする。スライドガラス上の試料に屈折率  $n_{D25^{\circ}C}=1.550、1.605、1.620、1.640、1.680、1.700$  の6種類の浸液から適宜選択し、滴下しカバーガラスを載せて標本とする。作製した標本を偏光顕微鏡により形態、色・多色性、複屈折率、消光特性、伸長の符号、屈折率などを観察する。

上記方法で観察を行った結果石綿繊維を確認できなかった場合、燃焼や酸処理など試料に適した方法で妨害物質を除去した後、6枚以上の標本を再度作製し観察する。この観察において、石綿繊維が確認できない試料については「不検出」とする。

### 【分析マニュアル第4章. 定性分析方法2（X線回折分析法、位相差分散顕微鏡法）による定性分析方法】

#### 〈試料調整〉

試料を粗粉碎し磁性るつぼに適量入れ、電気炉にて  $450^{\circ}C$  で1時間加熱する。

加熱後、デシケーターにて放冷する。放冷後、乳鉢にて粉碎を行い  $425\mu m$  のふるいを通してふるい分けする。すべての試料がふるい下になるまで粉碎及びふるい分けの操作を繰り返し行う。

#### ① 分散染色法

共栓付き三角フラスコに上記で調整した試料  $10\sim 15mg$  に水  $30\sim 40mL$  を加え、激しく振とうした後、3枚のスライドガラス上にそれぞれ  $20\mu L$  滴下し乾燥する。

ホットプレートにて乾燥後、スライドガラス上の試料に屈折率  $n_{D25^{\circ}C}=1.550、1.605、1.620、1.640、1.680、1.700$  の6種類の浸液から適宜1~3種類選択し、それぞれのスライドガラスに滴下しカバーガラスを載せて標本とする。1つの試料について3標本作製する。作製した標本を位相差・分散顕微鏡により分散色を観察する。

#### ② X線回折法

上記で調整した試料に必要な応じて酸処理等を行い、ホルダーに充填し定性用試料を作成する。これをX線回折装置により定性分析を行う。

【分析マニュアル第5章. 定量分析方法1 (X線回折分析法) による定量分析方法】

〈試料調整〉

試料を粗粉碎し磁性るつぼに適量入れ、電気炉にて450℃で1時間加熱する。

加熱後、デシケーターにて放冷する。放冷後、乳鉢にて粉碎を行い425 $\mu$ mのふるいを通してふるい分けする。すべての試料がふるい下になるまで粉碎及びふるい分けの操作を繰り返す。

〈定量分析〉

上記で調整した試料を100mg秤量し、コニカルビーカーに入れ、20%ギ酸20mLおよび水40mLを加え、超音波洗浄機を用いて1分間分散する。30℃に設定した恒温槽中に入れ、12分間振蕩する。

吸引ろ過装置を用いてフィルター上に捕集する。捕集したフィルターをX線回折装置によりX線回折強度を測定し、基底標準吸収補正法により石綿含有量を算出する。